取扱説明書

携帯型受信機

WT-1100

このたびは、TOA携帯型受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

ストラップの使用に注意

回転する機械の近くでは、ストラップを使用しないでください。
巻き込まれてけがなど、事故の原因となります。

禁　止

内部を開けない、改造しない

機器が故障したり、金属物が入ると火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

充電するときは、専用の充電電池と専用の充電器で

指定以外の充電器を使用すると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲汚損の原因となります。

強　制

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

イヤホンを差し込むときには、電源を切る

電源スイッチと音量ボリュームが兼用になっています。電源が入っていると突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

注　意

電池の液もれに注意

長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて、けが・周囲汚損の原因となることがあります。

注　意

電池の取り扱いに注意

次のことを必ずお守りください。
電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 金属物といっしょに携帯、保管しないでください。
- 充電式電池以外は充電しないでください。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 指定した電池をご使用ください。
- (＋)と(－)に注意し、表示どおり正しく入れてください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

強　制

TOA株式会社

ニカド電池をご使用のお客様へ

ニカド電池のリサイクルにご協力ください

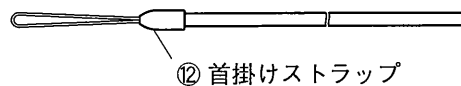
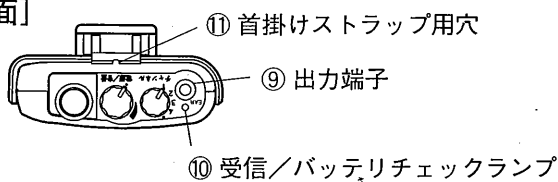
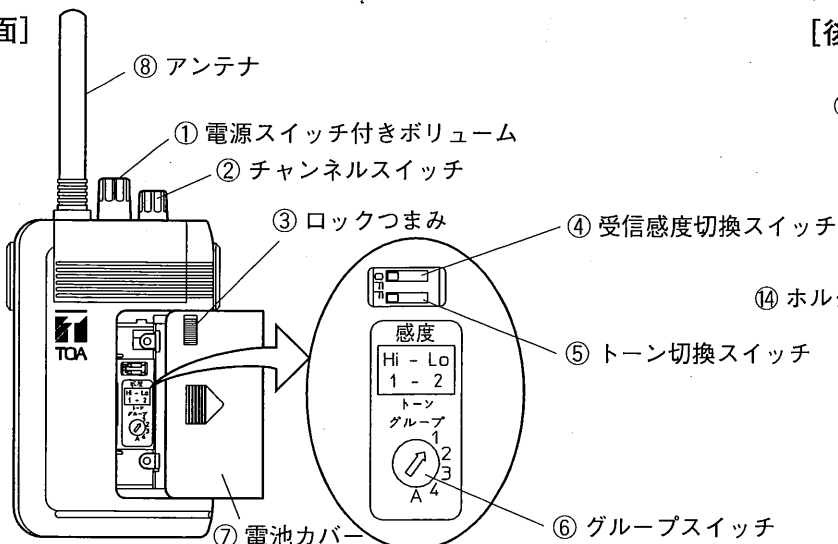
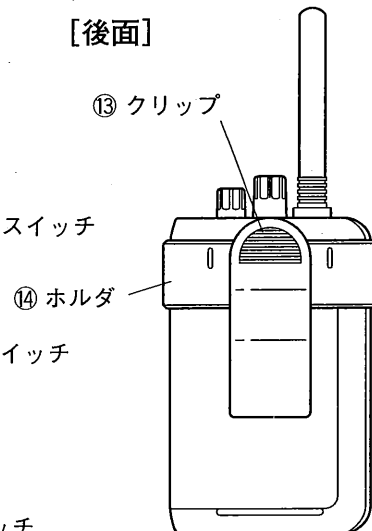
本機はニカド電池も使用できます。ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。
ニカド電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。
使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げ店または弊社営業所へ返却してください。

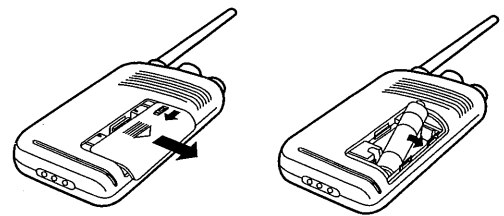
概　要

本機は、特定小電力無線局のC型ワイヤレスマイクロホン用に割り当てられた、322 MHz帯の電波を使用した携帯型受信機です。イヤホンは付属していません。別売のイヤホンが必要です。(プラグの直径3.5 mm、インピーダンス16 Ω以上の市販品も使用できます。) また、電源は単三アルカリ電池か充電式の電池の2種類が使用できます。充電式の電池を使用される場合は、専用の充電電池と専用の充電器を使用してください。

使用上のご注意

- 本機の分解、改造およびアンテナの付け換えは、しないでください。
- 本機に水が入ったりしないように、また、ぬらさないようにご注意ください。水滴がかかったときは、すぐに電源を切り、乾いた布で十分に拭き取ってください。
- 使用できる電池は、単三型アルカリ電池または専用の充電電池です。他の電池を使用すると正しく動作しないことがあります。
- 使用しないときは、必ず電源を切ってください。電池性能が低下することがあります。
- 半月以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池を入れたまま長い間放置すると故障の原因となります。
- 自動車のダッシュボードの上など、温度の高い場所や湿度の高い場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 床に落としたり、かたいものに当てないでください。故障の原因となります。
- アンテナを握って本機を持ち歩かないでください。故障の原因となります。
- 振動やほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

各部の名称

操作のしかた

1. 電池カバー⑦を外し、電池を図のように入れます。（電源スイッチ付きボリューム①は切「・」にしておきます。）
2. 受信感度切換スイッチ④を「Hi」（左位置）にします。（通常は「Hi」）
3. トーン切換スイッチ⑤を「1」（左位置）にします。（通常は「1」）
4. グループスイッチ⑥とチャンネルスイッチ②をそれぞれ送信機と同じ設定に合わせます。
   ※ グループにより使用できるチャンネル数が異なります。周波数表で確認のうえ、設定してください。
   ※ グループスイッチ⑥の設定は付属のドライバを使用してください。
5. 電池カバー⑦を元どおりに装着し、外れないようロックします。
6. 出力端子⑨にイヤホン（別売）を接続します。
7. イヤホンを耳に装着します。
8. 電源スイッチ付きボリューム①を時計方向に回して電源を入れ、適切な音量に調節します。電源が入ると、受信／バッテリチェックランプ⑩が点灯または点滅します。
9. 使用後は、電源を切ってください。

ロックを解除して電池カバー⑦を外す。

電池を入れる。

● 受信／バッテリチェックランプ⑩の状態

ランプ	本機の状態
ゆっくりした点滅	待受時（電波のないとき）
点灯	電波を受信中
速い点滅	トーンが一致していない電波を受信中
3回点滅の繰り返し	グループスイッチまたはチャンネルスイッチの設定誤り
緑色から赤色に変化	電池が消耗

上手にお使いいただくために

● 同一場所で同時に使用できるチャンネル数は、グループ1～3では4チャンネル、グループ4では1チャンネル、グループAでは5チャンネルです。同時使用するときは、同一グループの中でチャンネル設定をしてください。
複数チャンネルを同時に使用すると、1チャンネルのみの場合に比べて通達距離が短くなることがあります。

● 近くで本機と同じC型ワイヤレスマイクロホンを使用していると、チャンネルによって妨害を受けることがあります。そのときは、チャンネルを変更してください。

● 本機にはトーンスケルチ機能があり、送信機と受信機の両方が同じトーンに設定されたときのみ、受信機から音が出るようになっています。トーンを2チャンネル実装していますので、使用する送信機と受信機のトーンを同じ設定にしてください。

● トーンなしの電波や異なるトーンの電波を受信すると受信／バッテリチェックランプ⑩が速い点滅になり、妨害波の有無が確認できます。

● 妨害電波で使用しにくいときは、受信感度切換スイッチ④を「Lo」にして感度を下げると改善できることがあります。ただし、通達距離は短くなります。

● 本機にはスキャン機能があります。グループ1～3でチャンネルを「・」にするとスキャンモードになります。スキャンモードでは、受信中の電波が弱くなり、受信しなくなると同時に、自動的に新たな受信可能な電波を探して受信します。1種類のソース（音源）を複数カ所から、異なるチャンネルで送信しているときなどに使用します。受信できるチャンネルを探しているときは、受信／バッテリチェックランプ⑩はゆっくり点滅します。

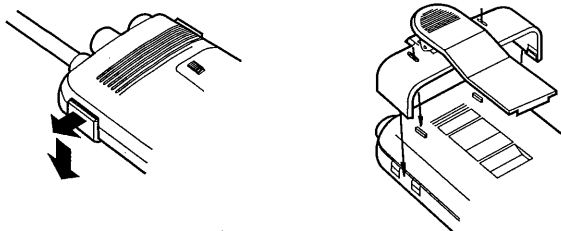
メモ

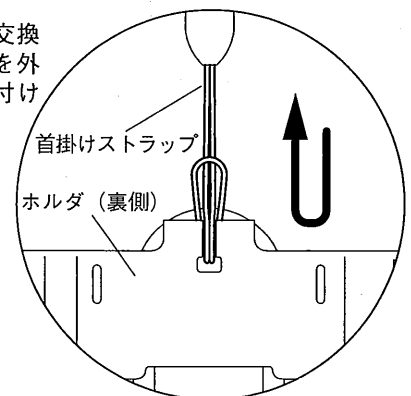
・スキャンモードでは1種類のソースで使用してください。電波を受信している間は他の送信機に近づいても切り換わらないので、送信機ごとのエリアを想定して異なるソースを送信しても、うまくいかないことがあります。
・グループ4、グループAにはスキャン機能はありません。

ホルダ、首掛けストラップの取り外し、取り付けかた

● ホルダの取り外し、取り付けかた

ホルダのつめを起こして取り外してください。

取り付ける場合はカチッと音がするまではめ込んでください。

● 首掛けストラップの取り付けかた

首掛けストラップを交換するときは、ホルダを外し、図のように取り付けてください。

仕　様

無線局の種類	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
電波型式	F3E
受信周波数	322.025～322.150 MHz 322.250～322.400 MHz（25 kHz間隔13チャンネル）
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	S/N 25 dB以上（7 dBμVEMF入力、偏移±2.25 kHz）
スケルチ感度	Hi : 5 dBμVEMF、Lo : 15 dBμVEMF
トーン周波数	14.80 kHz、14.75 kHz（2波のうちの1波）
周波数特性	200～5,000 Hz
ディエンファシス	50 μs
出力レベル	4 mW（16 Ω負荷、10％歪み時）
機能	チャンネルスキャン機能
電池持続時間	専用充電電池（WB-1100）使用時：約10時間 単三アルカリ電池使用時：約20時間
使用電池	専用充電電池（WB-1100）×1または単三アルカリ電池×1
使用温度範囲	-10℃～50℃
仕上げ	本体：ABS樹脂、シルバー
寸法	62（W）×163.6（H）×32.5（D）mm（突起部含む）
質量	約120 g（電池含む）

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

単三乾電池（黒RPU）＊ …………… 1
首掛けストラップ ……………………… 1
設定用ドライバ ………………………… 1

＊テスト用としてお使いください。

周波数表

周波数(MHz) ＼ グループ	1	2	3	4	A
322.025			C31		CA1
322.050	C11				
322.075		C21			CA2
322.100	C12				
322.125		C22			
322.150			C32		CA3
322.250	C13				
322.275		C23			
322.300				C41	CA4
322.325			C33		
322.350	C14				
322.375		C24			
322.400			C34		CA・

※真ん中の数字がグループを、末尾の数字がチャンネルを表します。

トーン周波数表

1	14.80 kHz
2	14.75 kHz

故障かな？と思ったら

症状	点検	処置
電源が入らない。	電池が消耗していませんか?	新しい電池に交換してください。充電式の電池の場合は充電し直してください。
	電池の極性が間違っていませんか?	電池を入れ直してください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリチェックランプはゆっくりした点滅。	グループスイッチ、チャンネルスイッチが送信機と同じになっていますか？	グループスイッチ、チャンネルスイッチを送信機と同じにしてください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリチェックランプは3回点滅の繰り返し。	グループスイッチ、チャンネルスイッチが割り当て外のところに設定されていませんか？下記以外の設定はできません。 グループ1～3のとき：チャンネル1～4 グループ4のとき：チャンネル1 グループAのとき：チャンネル1～4、・ なお、グループ1～3のとき、チャンネル・を選択するとスキャンモードになります。	グループスイッチ、チャンネルスイッチを正しく設定してください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリチェックランプは速い点滅。	トーンが送信機と同じになっていますか？	トーン切換スイッチで送信機と同一トーンにしてください。
送信機と受信機が近くても受信できない。受信／バッテリチェックランプは点灯。	イヤホンプラグが奥まで挿入されていますか？	イヤホンプラグを奥まで挿入してください。
送信機から少し離れると、通話できない。	受信感度切換スイッチが「Lo」になっていませんか？	受信感度切換スイッチを「Hi」に設定してください。

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOAインフォメーションセンター
商品や技術など､お問い合わせにお応えします。
受付時間　9：00 ～ 17：00（日曜・祝日除く）
フリーダイヤル（無料電話）
TEL. 0120-108-117
〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
TEL.(0797) 72-7567
FAX.(0797) 72-1090

Please see the reverse side for English manual.

取扱説明書

耳掛け型イヤホン　YP-E401

このたびは、TOA耳掛け型イヤホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

⚠ 警告　誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

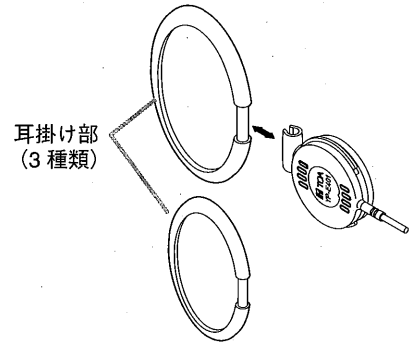
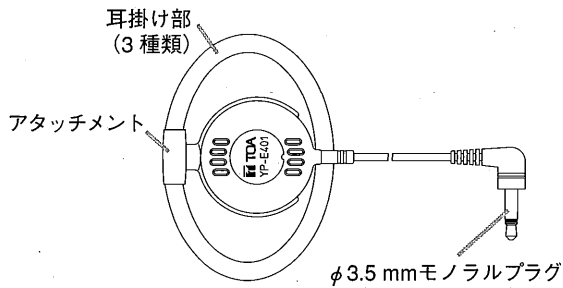
受信機の電源を入れ、イヤホンを耳に装着した状態でミニプラグをジャックに差し込まないでください。音量が大きすぎたときに聴力障害の原因となります。

各部の名称

装着のしかた

1. 耳掛け部を耳に掛けます。
2. スピーカ部を回転させて耳に当てます。

耳掛け部の交換のしかた

耳掛け部は、あらかじめ装着されたものを含め3種類の大きさのものがありますので、耳に装着しやすいものを使用してください。

仕　様

形式	ダイナミック型
インピーダンス	16 Ω
周波数特性	300 ～ 15,000 Hz
定格感度	88 dB (0 dB = 2 × 10^{-5} Pa、1 kHz 10 mW)
入力	最大50 mW
端子	φ 3.5 mm モノラルプラグ
コード長	1 m
仕上げ	黒（マンセルN1.0近似色）
質量	17 g（ケーブル含む）

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

イヤーパッド ……………… 1
耳掛け ……………………… 2

機器保証書

型名	YP-E401　製造（ロット）番号 06F83
保証期間	お買い上げ日から1年間
お買上日	年　月　日
お客様　ご住所	〒　TEL （　　）　−
お客様　お名前	様

この保証書は、お客様の正常な使用状態で万一故障した場合、当社修理規定に従い無償修理を行うことをお約束するものです。無償修理規定の詳細については、お買い上げの販売店にお尋ねください。
必ずすべての項目が記載されていることをご確認ください。記入漏れがある場合は、本保証書は有効とはなりません。
この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

販売店	住所・店名・TEL

TOA株式会社

日本語の取扱説明書は裏面をご覧ください。

INSTRUCTION MANUAL

EAR-SUSPENSION EARPHONE YP-E401

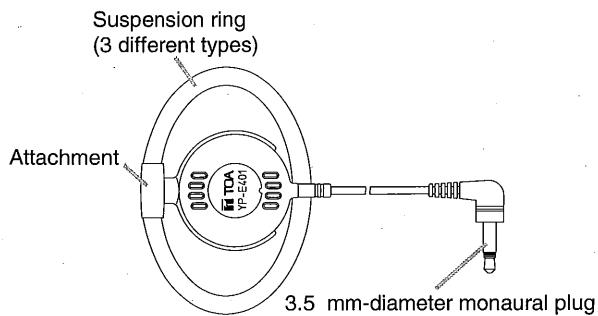
Please follow the instructions in this manual to obtain the optimum results from this unit.
We also recommend that you keep this manual handy for future reference.

1. SAFETY PRECAUTIONS

WARNING

Indicates a potentially hazardous situation which, if mishandled, could result in death or serious personal injury.

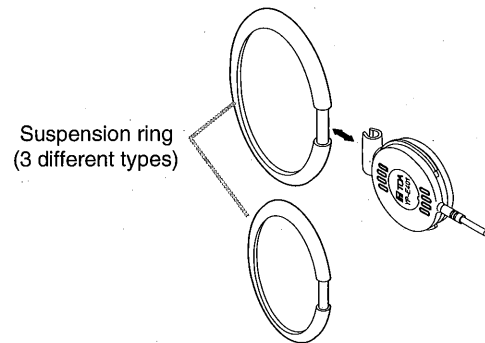
Do not insert the earphone plug into a receiver with the earphone set to the ear, as this could hurt the hearing sensation.

2. NOMENCLATURE

3. HOW TO USE

Step 1. Hang the suspension ring on the ear.

Step 2. Turn the speaker to locate it at the ear.

4. SUSPENSION RING REPLACEMENT

The suspension ring is made available for selection in three different sizes. Select the one which is the easiest to use.

5. SPECIFICATIONS

Type	Dynamic type
Impedance	16 Ω
Frequency Response	300 – 15,000 Hz
Rated Sensitivity	88 dB (0 dB = 2 x 10^{-5} Pa, 1 kHz, 10 mW)
Input	Max. 50 mW
Terminal	ø3.5 mm monaural plug
Cord Length	1 m
Finish	Black
Weight	17 g (cable included)

Note: The design and specifications are subject to change without notice for improvement.

• Accessories

Ear pad 1
Suspension ring 2

TOA Corporation

Printed in Japan
133-05-310-2C